



論 說



滿洲新國家と道路

長岡外史

—

滿洲事變の突發を動機として、多年彼地に暴政を極めたる東北軍閥は驅逐せられ、今や滿蒙の天地には革新の氣が漲り、いよ／＼滿洲國といへる新國家の成立を見るに至つたのは、東亞の和平のため、延いては世界平和の爲に世界人と共に吾人の欣賀に堪へない次第である。

新國家は其の建國の趣意書にも明かに宣言せられた如く、どこまでも人種、宗教、言語等の種別に囚はれる事なく、門戶解放機會均等の大度量を以て、無差別平等に世界人を包容しなければならぬ。而して滿蒙の天地を出發點として、東洋固有の王道に基く博愛仁義の精神を泰西諸國に輸出するところの大道としなければならぬ、永き傳統を保有する亞細亞の精神文明を世界に發揚宣布するところ

の根據地としなければならぬ。此の理想と抱負ありて、初めて滿蒙は世界の樂園と成ることが出来るであらう。

二

滿洲新國家は其の精神的理想に於て、前述の如き抱負と經綸を保持すべきであるが、更に物質的施設の方面に於ても亦此の趣旨に従つて計畫實施する所がなければならぬ。其の實際に施設を要すべき事項は、蓋し各方面に互つて算へ切れない程あるであらうが、今は唯道路方面の事のみに就て余の所見を述べて見たい。

凡そ道路は一國の文化的施設の根幹を成すべきものであつて、其の施設を整備せると否とは、文化の發達に至大の影響があるのである。滿蒙の各地に於ては、從來永く軍閥の私慾の犠牲となつて殆ど完全な道路といふべきものが無い現状であるが、此の道路の開發の遅れたる事は、取も直さず滿蒙が現代の世界の文化に後れたる事を如實に物語つて居ると謂ふべきである。

新國家の當局者は宜しく此點に鑑みて、諸般の文化的施設の根幹として、先づ道路の完備といふ事に着眼しなければならぬ。

三

余は世界戦争終熄の翌年、北米合衆國に遊んだ時、其の國內到る處に道路網が大規模に整調せられたる状態を見て、彼の國の將來の産業の發達、文化の進歩の無限なるべき事を痛感したのである。一日サンフランシスコの日本人會より午餐に招かれ、午後三時より、歐洲飛行界の實見談を講話することゝなつた。然るに偶々當日に至つて、同地より六十餘哩西方に在る邦人橋本榮太郎君等の經營に係る農園を視察して呉れとの依頼を受けた。當時彼の地方は交通の至便を誇つて居つたけれども、果して往復の時間に餘裕ありや否やを懸念したので、余は甚だ遺憾ながら今日は先約に依り、日本人會に於て午後三時より講話の豫定であるから視察の時間があるまいと思ふ、他の日に願ひたいと述べたるところ、其の點ならば當方にお委せ下さい、御承認さへ下さらば其の時間には必ず間に合ふやう都合を致しますとのことで、強つての懇望を受け、遂に之に應ずる事とした。日本人會の午餐を終へて雑談の折柄、自動車の用意が出来ました、是よりお伴を致しませうとのことで、自動車上の人となり、一時間足らずで先方に到着し、ユツクリ農園を見物した上、澤山の苺を土産に貰ひ受けて同所を辭し三時五分前には日本人會に歸着することが出来た。

其の農園への往復の途中、左右の荒野に路幅三十間にも餘るべき大道路が四線か五線、蜿蜒々として遠く走つて居るのを見た。茲に於て余は何れの都邑に通ずる道路かと尋ねたところ、イヤ是は將來開拓せらるべき土地であつて、現在はまだ村落は無い、唯逸早く車道が出来て、水道、瓦斯、電信、電話等の設備が施されただけで、御覽の通り、人道はまだ舗装が出来て居ない、是等は此の道路の兩側に住む人

が出来次第に施設せられる筈である。サンフランシスコの市役所に行けば、是等の道路の沿道の土地の地形地質は固より、何れの穀物果樹の栽培に適する土地であるか等の事柄が綿密に調査されて、移住民の来るを待ちつゝあるのであると聞いて、余は其の計畫の遠大設備の周到なる事に一驚を喫すると共に北米合衆國の將來の繁榮が是等の道路を根幹として組織的に確實に招來せらるべき事を豫見し他國ながら欣んだのである。

滿洲新國家は諸般の事皆大規模に施設されなければならぬ。就中滿蒙の地は、歐亞兩大陸の聯絡地として、物資の大吞吐地として將來ますます重要性を増すべき土地であるから、其の開發の爲には誠に道路の計畫の大膽に整備せらるべき必要を痛感する。支那馬車は世界の名物にして將來と雖も其の必要を減じ無い、是が爲めにも廣き道幅を必要とす。

四

而して今日以後の道路の計畫は従來のその如く單に陸上交通機關の狀勢のみを基準として考へるだけでは足りない、即ち飛行機の異常なる發達に伴つて、道路の施設も平時及び非常時の飛行機の利用、活躍といふ點を考慮して、之に順應すべく計畫設計せられなければならぬのである。

先年關東地方の大震災火災の後、余は復興院評議員の一人として、其の第一回の會議の席上に於て復興すべき東京市内外の道路は、將來飛行機全盛の時代の到來すべきことを考慮して、其の配置構造就

中幅員に於て十分の餘地を與へなければならぬといふ事を主張したのである。然るに當時不幸にして余の説は容れられずして遂に今日の如き余をして忌憚なく言はしむれば貧弱極まる幅員の道路が出来上つてしまつたのである。

世人動もすれば、東京市の復興道路の幅員が廣きに過ぎる事を説く者があるけれども、それは甚だ中らざる議論である。現に東京市に交通事故の甚だ多い事も主として路幅の狭いことに基因するものと思はれる。試に昭和五年の東京市内の交通事故に關する統計を見ると、

事故件數

二萬八千九百五十三件

死亡者數

三百五人

負傷者數

一萬七千六十二人

といふ、文明都市に見るべからざる大不祥事を頻發して居るのであつて、世界各國に對しても赤面至極の事と謂はなければならぬ。

五

今回の滿洲事變および最近の上海方面の兵變に於ける經驗に徴するも飛行機の威力は非常なるものであつて我が陸軍の精銳の果敢なる活動も飛行機の活躍に負ふ所多きことは戰況の報道に徴して極めて明かである。彼の歐洲大戰の當時空中襲撃を受けたる經驗なき我が國民は今回の事變

に於ける飛行機の大活躍と其の大威力を見ては、一朝攻守其の處を替へたる場合を鑑みて、蓋し慄然恐怖の念を禁じ得ないであらう。而も現今の飛行機は歐洲大戰當時に比すれば其の性能は著しく改良進歩せられて居る。故に一朝有事の際に備ふるために、第一に都市防空施設に全力を注がなければならぬ。道路及び避難所の設備に最も意を須ひなければならぬ。

坤輿の大都市の道路面積と都市の全面積に對する割合を見るに、ワシントン市に於ては〇四五であり、ニューヨーク市は〇三五であるに對して、我が東京市は復興後の今日に於ても僅に〇一七五といふ貧弱千萬なるものである。避難所たるべき公園の面積も亦同様であつて、ワシントン市に於ては市民一人當りの公園面積十八坪であるに比して、東京市は〇四四坪に過ぎない、驚くべき劣等ではないか。不幸にして東京市が一旦大空中艦隊の空襲を受けたりと假定したならば、市民は何所に避難するか、老幼婦女子の如きは恐らくは遁るゝに餘地なく、群衆のために踏み潰されてしまふであらうことを虞れる。

新しき滿洲國に於ては、是等の事例を好個の參考資料として、國都たるべき長春をはじめ奉天、ハルピン等の都市は勿論、全土に亘つて周到なる道路の施設をせられん事を希望せざるを得ない。而して其の施設計畫は、今日建國の當初に於て、取急ぎ着手せられる事が必要であると思ふ。日本内地の如く土地狹隘、人口稠密に達したる地に於ては、必要を痛感しつゝも十分なる道路の擴張を行ふことは困難である。滿洲國は其の廣漠なる全版圖に亘つて多くは殆ど新に道路橋梁の施設を爲すので

あるから自由計畫實施することが出来るのである。新國家の當局は徒に舊來の因襲に泥むことなく、大膽に周到に其の道路計畫を樹立せられんこと熱望千萬である。

道路改良會は我國に於て過去十數年の久しきに亙り、或は道路改良の必要を朝野の間に鼓吹し、或は其の實際的方面の指導に従事する等、我國の道路改良事業の上に顯著なる貢獻をなし來つたことは、夙に世の認むる所である。今や滿蒙の天地に新しき友邦の成れるに對して、能ふべくんば道路改良會の如き有力なる團體が、其の多年の經驗と豊富なる蘊蓄を傾けて、新國家の好き相談對手となり、其の道路施設の上に寄與せらるゝ所があつたならば、其の結果は實に滿蒙三千萬民衆の福祉たるのみに止まらないであらう。

滿洲國に於ける道路の開發

算 正 太 郎

昨秋柳條溝の鐵路に企てられたる一爆破を導火線として、日清日露の兩戰役以來我同胞の碧血を以て色どられたる滿洲に於て、多年排日侮日の極を盡したる支那軍閥に對する日本の正當なる排撃となり、是がやがて滿蒙三千萬の民衆に對して、積年の腕力及資本に於て横暴の限を盡して居つた權